

平成 28 年度 「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

**国 語**

**平均通過率**

市 69.0%  
県 (63.7%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

**領域等の定着状況**

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 72.4% (68.0%)

【聞 く こ と】 78.7% (80.0%)

【書 く こ と】 68.8% (66.6%)

【読 む こ と】 55.1% (55.8%)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 77.6% (68.6%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 47.3% (36.7%)

○タイプⅠ (基本問題)

**通過率 60%以上の設問(上位3問)**

- 第3学年の漢字の読み  
(設問三1③) 94.9% (91.4%)
- 要点の聞き取り  
(設問一1) 94.2% (90.7%)
- よりよい表現への書き直し  
(設問四2③) 91.3% (90.5%)

**通過率 60%未満の設問**

- 中心となる語や文の把握  
(設問三7) 25.4% (25.8%)
- 目的に応じた記述  
(設問四2(1)) 47.1% (41.5%)
- 段落相互の関係の把握  
(設問三6) 51.4% (53.0%)

○タイプⅡ (活用問題)

**通過率 60%以上の設問**

- 文章の構成  
(設問五1構成) 76.1% (63.8%)

**通過率 60%未満の設問**

- 情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述  
(設問六1) 26.1% (16.3%)
- 情報の取り出し・情報を関係付けた記述  
(設問五1情報) 39.9% (29.9%)

**結果からいえること**

○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より5.3ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「書くこと」、「読むこと」に関する指導です。中心となる語や文を捉え、文と文の意味のつながりや段落相互の関係を考えて読ませる指導を行う必要があります。

また、タイプⅡにおいて、複数の資料から必要な情報を取り出させ、それらを関連付けて自分の考えを書かせたり、論理的に説明させたりする指導を充実させる必要があります。

## 平成 28 年度 「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

## 算 数

## 平均通過率

市 74.5%  
県 (69.4%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 80.3% (74.9%)

【数と計算】 88.8% (85.3%)

【量と測定】 72.5% (70.2%)

【図形】 71.3% (62.4%)

【数量関係】 79.3% (66.4%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 56.1% (52.0%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 3位数+3位数  
(設問1(1)) 95.7% (94.3%)
- 小数の減法  
(設問1(5)) 94.9% (88.8%)
- 同分母の分数の減法  
(設問1(6)) 94.2% (82.6%)

## 通過率 60%未満の設問

- ひし形の判断  
(設問7) 46.4% (52.1%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 事象の観察と情報の選択  
(設問11(1)) 71.0% (70.7%)
- 事象の解釈と根拠の説明  
(設問11(3)) 64.5% (52.7%)
- 平行四辺形の性質の利用  
(設問11(2)) 60.1% (58.0%)

## 通過率 60%未満の設問

- 目的に応じた計算結果の見積もり  
(設問10(1)) 37.7% (36.4%)
- 折れ線グラフと棒グラフの関連付け  
(設問10(2)) 47.1% (42.2%)

## ○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より5.1ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「図形」に関する指導です。作図をする際に、図形の約束や性質と結びつけ、図形の理解を深めさせる指導を行う必要があります。

また、タイプⅡにおいて、目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について適切に判断させる指導や、複数のグラフを関連付けて特徴や傾向を読み取らせる指導を充実させる必要があります。

## 平成 28 年度「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

## 理科

## 平均通過率

市 65.8%  
県 (60.6%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 73.1% (68.1%)

【生命】 74.6% (68.2%)

【エネルギー】 61.7% (54.6%)

【地球】 64.7% (61.8%)

【物質】 64.2% (59.3%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 52.3% (46.7%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 温度の正しいはかり方  
(設問7(3)) 98.6% (96.9%)
- アルコールランプの正しい使い方  
(設問2(1)) 97.1% (88.5%)
- 昆虫の体  
(設問5(1)) 94.2% (75.0%)

## 通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 物の重さのはかり方  
(設問1(1)) 48.6% (44.6%)
- 太陽と地面の様子  
(設問7(4)) 49.3% (53.0%)
- つなぎ方の違いによる電流の強さ  
(設問4(3)) 58.7% (56.6%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 水の温度と体積の変化と生活の関係  
(設問2(3)) 63.8% (51.3%)
- 磁石の性質を利用したものづくり  
(設問3(1)) 63.0% (59.0%)

## 通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 太陽の動きと影の関係  
(設問7(1)) 40.6% (26.4%)
- 物の重さと体積の関係  
(設問1(2)) 41.3% (45.9%)
- 物質の磁石と電気に対する性質  
(設問3(2)) 45.7% (36.8%)

## 結果から考える

## ○考察

平均通過率が 60%を超え、県の平均通過率より 5.2 ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、自然に親しんだり、観察、実験を行ったりすることを通して、自然事象についての実感を伴った理解を深める指導の充実を図る必要があります。

また、タイプⅡにおいて、科学的概念や用語を用いて、事実や根拠に基づいて考え、記述させたり説明させたりする指導を充実させる必要があります。